

『テーマでひらく学びの扉 少子化社会と妊娠・出産・子育て』出版記念シンポジウム

妊娠・出産・子育ての

Check!

現在・過去・未来

少子化対策が喫緊の政策課題と位置づけられ、妊娠・出産・子育てへの支援の重要性がますます増加しています。妊娠・出産・子育てをめぐる環境は、どのような変遷を経て現在に至り、どのような問題が生じ／残されてきたのか。そして、私たちはこれからの妊娠・出産・子育てとどのように向き合っていけばよいのか。『テーマでひらく学びの扉 少子化社会と妊娠・出産・子育て』の刊行を機に、一緒に考えてみませんか。

PROGRAMME

12:45～14:15

〈話題提供〉 少子化対策としての妊娠・出産・子育て支援をどう考えるか？

「結婚と不妊」 由井秀樹（日本学術振興会特別研究員 [PD] / 立命館大学人間科学研究所客員研究員）

「子育て支援」 松島 京（相愛大学人間発達学部准教授 / 立命館大学人間科学研究所客員研究員）

「出産と母子保健」 伏見裕子（大阪府立大学工業高等専門学校講師）

「避妊・中絶」 木村尚子（広島市立大学客員研究員）

「出生前診断」 利光恵子（立命館大学生存学研究センター客員研究員）

「社会的養護」 安藤 藍（首都大学東京都市教養学部助教）

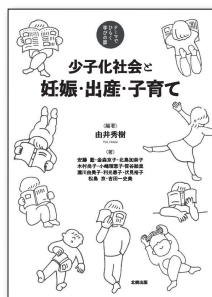
「養子縁組」 吉田一史美（立命館大学大学院先端総合学術研究科 / 立命館大学人間科学研究所プロジェクト研究員）

14:15～14:30 コメント（柘植あづみ [明治学院大学社会学部教授]）

14:30～15:00 全体ディスカッション コーディネーター：松田亮三（立命館大学産業社会学部教授）

○司会 笹谷絵里（同志社女子大学看護学部実習助教）

同会場でシンポジウムに引続き、15:15～16:45 まで連続市民講座「少子化社会の妊娠・出産・子育てを考える」を開催します。不妊と社会的養護の話題を取り上げ、前半のシンポジウムの議論をさらに深めていきます。合わせてご参加いただけましたら幸いです。…………… 詳しくはコチラ ➡



テーマでひらく学びの扉
少子化社会と
妊娠・出産・子育て

由井秀樹 編著

A5判 168 ページ

978-4-7793-0524-5

本体価格 1900 円

2017 年 4 月発売

北樹出版 刊

RECOMMEND

『テーマでひらく学びの扉 少子化社会と妊娠・出産・子育て』は、特定の学問分野にとらわれず、妊娠・出産・子育てをめぐるトピックについて、歴史的な展開を含めて解説する書籍で、2016 年度の立命館大学人間科学研究所「家族計画をめぐる対人援助プロジェクト」（2017 年度にインクルーシブ社会・医療サービスプロジェクトへと発展的解消）の活動の一環として作成されました。大学生向けの教材であると同時に、新書のような読み物としての性格を持ち、研究成果の社会への還元のための新しい形を模索しています。レポートや卒論に何を書こうか迷っている学生さん、もう一度学んでみようという大人の皆さんのご参加をお待ちしております。（もちろん、大学の先生も歓迎します）

2017. 10. 15 sun

12:45～15:00（12:15 開場）参加無料※

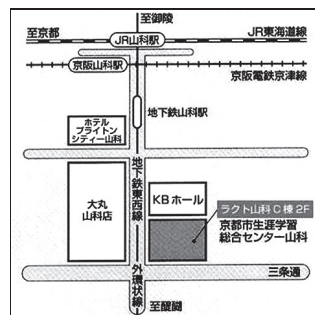
※連続市民講座と合わせて飛び入り参加も歓迎しますが、資料準備の都合上、事前に (very.blue.straw.berry@gmail.com [由井]) までご連絡いただけましたら幸いです。

当日会場にて

特価での書籍販売あり

場所：京都市生涯学習総合センター山科
（アスニー山科）実習室
〒607-8080 京都市山科区竹鼻ノノ街道町 92
ラクト山科 C 棟 2F TEL：075-593-1515
山科駅（JR、京都市営地下鉄、京阪線）すぐ。

ACCESS MAP



主催：立命館大学人間科学研究所インクルーシブ社会・医療サービスプロジェクト